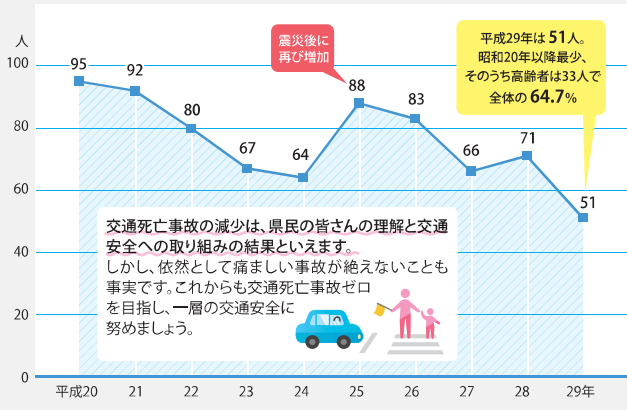




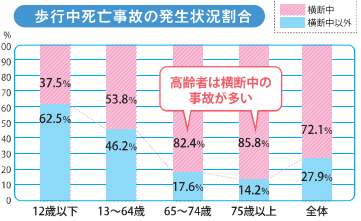
# 交通死亡事故が大幅減、でも油断しないで! 一人一人の意識と取り組みで事故防止!

宮城県の交通事故による死者数の推移(過去10年)



昨年、宮城県での交通事故による死者数は51人で、昭和20年以降最少となりました。その主な要因には、歩車分離などの道路環境の整備や自動車の安全性の向上、データ分析に基づいた広報や街頭活動などによる効果が考えられます。

一方、死者数51人中、高齢者が33人(全体の64.7%)で横断中の事故死者は+4人(前年比)となつていていることは今後の重要な課題です。高齢者の事故は、加齢に伴う視覚機能・運動機能の低下や、夜間での見えにくい服装なども一因と考えられています。高齢者に限らず、事故を防ぐためには、交通ルールを守り、反射材を身につけるなどの自衛を心がけることが重要です。「事故に遭わない」「事故を起こさない」という県民一人一人の意識と取り組みこそが死亡事故防止につながります。



## 高齢者の横断中事故を防ぐために 反射材とルール厳守で自己防衛を!

**Point 1** できるだけ明るい服装や、反射材を着用するなど、ドライバーから見やすい工夫をしましょう!

**Point 2** 少し遠回りでも、横断歩道を渡りましょう。

**Point 3** 声を出して、左右の安全確認をしましょう。

**Point 4** 遠くの車も、アッという間に目の前に。横断の後半は、左側から来る車に特に注意しましょう。

\*この版面では65歳以上の方を高齢者としています(総務省統計局に準ずる) ※グラフの数値は宮城県内のもの 資料提供/宮城県警察 企画制作/河北新報社営業局

【みやぎ交通死亡事故ゼロキャンペーン】交通死亡事故の抑止と飲酒運転根絶に向けて全力で取り組んでいます。

主催/宮城県、宮城県警察本部、河北新報社 特別協力/仙台市 ●お問い合わせ/みやぎ交通死亡事故ゼロキャンペーン事務局 河北新報社営業局営業部内 〒980-8660 仙台市青葉区五橋1-2-28 Tel. 022-211-1318 9:30~17:00(平日のみ)

「電子マネーで支払って」は詐欺です。平成29年末の特殊詐欺被害件数342件(前年比+72件)被害額 4億5,100万円(前年比-約2億1,436万円)

警察相談電話 TEL.022-266-9110

私たちも、「みやぎ交通死亡事故ゼロキャンペーン」に賛同し、交通安全に取り組んでいます。

特別協賛/ JA・JA共済連宮城

企画協賛/ Paradiso OHGIYA 富原商事株式会社

新日鐵住金グループ

協賛

夢広場NEW7 北都観光株式会社 北ノセアム崎 株式会社 マルタマ 一般社団法人 宮城県交通安全協会 一般社団法人 宮城県自動車協会 宮城県社会保険労働士会 一般社団法人 宮城県自動車整備協会の会 宮城ダイハツ販売(株) 宮城トヨタ (印不同)